会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2019年 4月号





千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2019年 4月1日発行 通巻312号

春山は気候の急変に

注意して楽しもう!

4月号目次

•	目	火	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• '	•	•		2
•	県連	3)	月理	事	会	報行	寺		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		3
•	全国	評談	義員	会	参	加载	银台	냨		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			6
•	初級	登	山講	習:	会	₹F	勺		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		8
•	県連	海ダ	卜委	員:	会	た。	t!)		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			9
•	オー	ス	トラ	リ	ア	山1	亍幸	设行	告		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1	0
•	イン	カī	5道	• ;	太	易	ま~)	ŋ i	報	告		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1	3
•	鳥の	巣箱	育	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1	5
•	六甲	全L	山縦	走	報行	告		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1	6
•	足尾	「林	直樹	祭.]	お請	秀レ	`		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1	8
•	県連	た。	より		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				1	9
•	予定	表	•					•		•	•	•			•				•	•	•	•	•	•	•	•		•	,	,	2	0

表 紙 説 明

県連海外委員会は元気です。

千葉県連設立50周年記念海外登山で、バリ島三山登山に参加した 会員を中心に新しい会員の参加で精力的に活動しています。

7月6日から15日まで、中国・大姑娘山(5075m)に20名が参加して山行が実施されます。

表紙写真は、10ページに報告が掲載されているオーストラリア 登山のワンシーンです。

労山のテーマ「安く・楽しく・安全に」を実践しています。

千葉県連3月理事会報告

記録・市川山の会 松宮 県連理事

千葉県連3月理事会を下記の通り実施しましたので報告します。

- 1、日時 3月14日 (木) 19:00~20:45
- 2、会場 船橋市西部公民館
- 3、出席会 ちば山の会、君津ケルン山の会、松戸山の会、茂原道標山の会、 まつど山翠会、まつど遠足クラブ1年さくら組、山の会「岳樺クラブ」 千葉こまくさハイキングクラブ、山の会「岳樺クラブ」、かがりび山の会、 市川山の会
 - 役員 古瀬顧問、広木会長、鶴田副理事長、小林会計、伊東教育遭難対策委員長 菅井自然保護委員長
- 4、議題・討議事項
 - 1) 各委員会報告
 - ①教育漕難対策委員会
 - ・2019 雪上講習会 4月6日(土) 谷川岳マチガ沢で実施。参加会の事前打ち合わせ 3/28(木)19:30~ 県連事務所
 - ②自然保護委員会
 - ・2/28(木) クリーンハイク下見実施。3/28(木) の自然保護委員会 で正式決定予定。
 - ・鴨川メガソーラー建設予定地も同時に下見実施。 千葉県森林審議会保全部会で建設地の伐採が承認された。開発許可は市の 意見書を踏まえて森田知事が判断。
 - ③ハイキング委員会
 - ・3/5 (火) ハイキング委員会開催4/11 (木) ウィークディ山行 群馬県神成山 3/15 に申し込みメ切 3/18 (月) 委員会メンバーで下見予定。
 - ④組織委員会
 - ・3/8(金)組織委員会開催 合同会議で出された意見の検討。 詳細は、組織委員会報告要旨で報告。
 - ⑤海外委員会 オーストラリアに出発。現地で活動中。
 - ⑥機関紙委員会
 - ・委員が3名になった。4月から誌面の改正等に取り組む。
 - 2) 合同会議を受けての論議
 - ・合同会議と3月理事会議事録を会代表者・県連理事にメール配信するので 各会で討議して意見を理事会に反映してほしい。

3)組織委員会報告についての論議

(1) 組織委員会報告要旨

- ①会員減少への対応として、アンケートを実施するので協力をお願いする。
- ・2年に1回の総会に向けて、各会の現状を把握する資料として組織強化、会員獲得に関するアンケートの実施。前期は会員獲得と高齢者対策に特化したアンケート。後期は定型的なアンケート。

②会員獲得の具体的活動

- ・全国連盟作成労山リーフレットを各会にメール配信する。希望会に200部 作成補助。県連や会のアピール文を記入し会・県連のPR、会員獲得に活用。
- ・ホームページ開設応援の実施。 ホームページからの入会や見学問い合わせが多い。未開設の6会で「HP開 設援助」を希望会と協議。「県連HP委託会社」の協力も視野に入れて検討。
- ・交流行事を実施している会の経験の紹介。

(2) アンケートについての意見

- ・県連の何が問題で何をつかみたいかがわかるアンケートを。
- ・山行に対する会の考え方がわかるアンケートの工夫を。
- ・新人獲得方法、入会希望者への対応、入会者をつなぎとめる工夫等の目的に 特化したアンケートを。
- ・会員の意見や要望、会の特徴が出るアンケートを。年間の山行への参加者数 がわかると会の傾向が出るのでは。
- ・HPの幾つかの会の中でなぜこの会を選んだのかわかるアンケートを。
- ・会へのいろいろな入り方を列挙し、その中から選ぶアンケートを実施したい。

(3) ホームページについての意見

- ・入会の最大の手段としてHPが有効か。他の手段がないからHPを見て入ってくるのでは。次の理事会の検討課題として提案してほしい。
- HPで加盟会のフランチャイズが分かる工夫を。
- ・県連HP。どんな会があって、代表者や連絡先が分かるといい。
- ・HPで大事なカウンター。1年間のアクセス数が参考になる。減ると下がる。
- (4) 会員拡大につなげる県連行事の公開制についての意見
 - ・ ふれあいハイク、クリーンハイクを公開制にしては。 趣旨に賛同する人を会 に取り込むことができる。 実施するのは大変だと思うが。
 - ・市民ハイクを実施、いろんな人が参加。会が望む人が来るとは限らない。
 - ・会のアピールとしては有意義。やることを前提にした工夫が必要。会員拡大 は何故必要かの共通理解が必要。年間を通して取り組む難しさがある。
 - ・県連50年の歴史の中でいくつか公開で実施した経緯がある。 ロングハイキング、新聞で知らせ百数十人が参加。一般参加者行方不明事件。 映画と講演の夕べ、入場料千円で毎年5~600人の参加。

ちびっこハイキング、子ども達を集め沢遊び。

最初の頃は外向きにやっていたが、だんだん内向きになっている。

・ ふれあいハイク、オープン化はなかなか難しい。ボランティアを募る等の、 工夫が必要。

クリーンハイクは、やろうと思えばできるのでは。ロングハイクは難しい。

- (5) 会の運営や活動についての意見
 - ・大型会から会員数が100人を超えると運営が難しいという意見。 全国的にもあるが、数百人の会もある。運営方法、スタイル、規則が違う。 100人の会になれば100人の会の運営方法やスタイルが必要。
 - ・入会年齢制限にもいろいろなやり方、会の性格によって検討を。 会員獲得も会の性格により会独自の取り組みの工夫が必要。
 - ・県連は、情報や資料を提供し会の支援を行う。

4) お願い

・県連全体で取り組む ・近隣の会同士で実施する等、実施しやすい方法で 取り組みを進めてはどうか。

5) ココヘリの案内

個人賠償保険が加わって評価が高まり、入会者が増加中です。 年会費3,600円。入会金3,000円は労山特約で掛かりません。 全国連盟のHPに掲載あり。

入会申し込みは、ココヘリ・労山より行って下さい。 (質問・問い合わせは、広木まで)





日本勤労者山岳連盟 第33期第1回評議会 参加報告 教遭委員 伊東春正(かがりび山の会)

標記評議会に千葉県連評議員として初めて参加しましたので報告します。

日時: 2019年2月16日(土)13時~17日(日)12時

場所:府中市・ホテルコンチネンタル

出席者:役員・理事 42 名、県連評議員 41 名 議事:2018 年度活動総括・2019 年度活動方針 2018 年度決算報告・2019 年予算提案

各県連からの報告

会場につくなり役員・理事の人数に圧倒されましたが、船橋山の会の石川理事を見かけ落ち着きました。

県連からの報告は、主として組織の拡大強化と遭難事故を減らす活動の報告がなされました。私からは以下を報告しました。

- ・千葉県連は会員数 58 名減であり、会員数 100 名くらいの大きな会の退会者が多い。退会者の年齢、会在籍年数、退会理由を調査して 2/21 の代表者会議で対策を議論予定である。
- ・11 月に事故・交流集会を実施、このほか雪山講習、登山講習を行っているが、 救助隊が休眠中であり講師の引き受け手が不足している。
- ・鴨川メガソーラ問題

143 ヘクタール (東京ドーム 32 個分) の伐採計画であり、地元自然を守る会と反対著名 1 万人を集めた。まだ、県からの許可が下りていない状況であるので、反対活動が盛り上がると中止できることもありうると思う。

2018 年 11 月の労山全国連の会員数は、18,802 名で前年に比べ 227 名の会 員減とのことでした。最も減少の多いのは千葉県連で、次は静岡県の 51 人減 でした。

事故件数は 311 件と昨年とほぼ同じです。事故 1 件に対する会員数は、全国連では 60、千葉県連では 54(696 人/13 件)と全国連より悪い数値となっています。

以下に主だった報告を列挙します。

■組織の拡大強化について。

静岡県は、一つの会が脱退したのが大きかった、増やすことのみに目を向けす ぎていたとの反省を述べていました。

会員が 39 名増加した岡山県では、地元の地方紙を通じた登山教室の開催や市 民ハイキングを開催しているとの報告でした。

退会者を減らす対策として

- ・老齢化のため無理なく楽しめる山行
- ・新人対象に登山学校を毎月開催
- ・県連の役割を会員に伝え、県連活動をアピール などが出ていましたが、総じてこの件に関する 意見は少なかったと思います。

新規会員を増やす活動として

- ・各県連に共通した有効策としてホームページ(HP)の新設と充実を挙げていました。千葉県連では、16 会中まだ HP がない会が 6 会あります。
- ・島根県は「出雲の山々」という本を 5000 部自費出版して完売しており、県連のアピールとなっているとのことでした。千葉にも「房総の山・50選」があり、これをもっとアピールするといいと思いました。
- ・群馬では、山頂で勧誘のチラシを配布しているとのことでした。
- ■遭難事故を減らす活動について
- ・各県連は、登山学校、ハイキングセミナー、山筋ゴーゴー体操講習会などを 上げていました。千葉県連でも、4月雪上技術講習、6月初級登山講習と初 心者向け講習はやっていますが、その後のステップアップ講習は行われてい ません。
- ・京都では、自然災害で登山道が寸断することがあるので、登山道を調査、整備を行っているとのことです。「房総の山・50選」の中にもかなり荒れた山があります。

以上、県連活動に関わって1年足らずですが、千葉県連の置かれている状況 が認識できたように思います。





全国連盟評議会は、総会のない年に隔年で実施されます。

千葉県連の合同会議が全国県連 盟評議会と同じ位置付けです。

全国連盟総会は、2020 年 2 月に 予定されています。会員数により 総会代議員 3 名、評議会は 1 名が 参加します。

次期総会に代議員として参加を お願いします。全国の仲間と交流 が出来て結構楽しいです。



2019 初級登山講習の案内

千葉県連教育漕難対策委員会

近年の登山事故原因は、道迷い、滑落、転倒で70%を占めている現状を踏まえ、今年も事故防止の取り組みとセルフレスキュー(応急処置等)の実技講習を行います。 単独では取り組みが難しい会や、初心・初級登山者が増加している会の積極的な参加を お願いします。

記

- 1) 日程:6/8(土)
- 2)場所:栃木県鹿沼市・岩山
- 3)集合:東武日光線新鹿沼駅(8:49下車) 徒歩で現地(岩山入口の日吉神社)へ向かう途中で 地形図とコンパスの使用法を講習する。
- 4) 実技:9:30-16:00
 - ①ストレッチ (ウォームアップ)
 - ②地形図とコンパスの使用法
 - ③登山道の歩き方
 - ④岩場の登下降とトラバース (危険地帯の通過と危険回避)
 - ⑤支点作りと自己ビレー(確保): 県連救助隊推奨7点セットを使用
 - ⑥ツエルト設営
 - ⑦事故時の応急処置と搬送法
 - ⑧クールダウン
- 5) 実施規模:30名程度
- 6) 個人装備: 雨具 ストック 行動食 県連7点セット* *<スリング長1 短2 補助ロープ 10m カラビナ2 環付カラビナ1> シルバコンパス
- 7) 共同装備:各会毎 ツエルト テーピングテープ 三角巾
- 8) 参加費:500円/人
- 10) 各会責任者打ち合わせ: 5/30(木) 19:30~県連事務所にて
- 11) 雨天決行:但し、大雨等の場合は中止。
- 12)トイレ事情:現地に適所無し。駅前で出発前に済ませ、携帯トイレは各自で。
- 13) その他問合せ先:

教遭委員会 伊東<itou2385@yahoo.co.jp>090-1774-3384

海湾湾湾

<1>オーストラリア大陸最高峰『コジオスコ山 2228m』山行、

3月15日(金)無事帰国!

2019年3月8日(金)~15日(金)7泊8日の日程で、世界七大陸最高峰のオーストラリア大陸の最高峰『コジオスコ山2228m』登頂と世界遺産『ブルーマウンテンズ』での断崖絶壁トレッキング、世界最古の鍾乳洞『ジェノランケーブ』見学、世界三大美港『シドニー』観光、首都『キャンベラ』観光を、5会19名(男性8名、女性11名)で堪能してきました。

シドニーでは、夕食後に夜景も見ることもできうっとり!

車移動では、どこまでも限りなく続く大きな牧場の中を延々と走り、オーストラリアの広さを実感しました。(詳細は報告書参照)

<2>中国『大姑娘山タークーニャンシャン 5025m』19 名申込

『ちばニュース 3 月号』で募集しましたところ、5 会 20 名(男性 6 名、女性 14 名)の参加申し込みがありました。募集定員 16 名でしたが、現地移動バスについて旅行会社と改めて相談の結果、20 名でも可能となりましたので、参加申込書の届いた全員で実施することにしました。

3月27日(水)に、正式に旅行会社に手配を依頼しました。

日程は、『7月6日(土) \sim 15日(月・祝)』のテント4泊を含む『9泊10日間』です。

<3>今後の海外登山

昨年 2018 年夏に『海外登山活動に関するアンケート』をし、その集計結果 を各会に配信済みです。その結果を参考に目的地を決めていきたいと考えて はいますが、『是非行きたい…!』という声をお待ちしています。

海外委員会へのご意見などをどしどしお寄せください。

<問合せ先>安彦秀夫(東葛山の会)mt25hm4abichan@gmail.com

千葉県連海外登山<世界七大陸最高峰の一つに挑む>

オーストラリア大陸最高峰「コジオスコ山 2228m」に登る!

安彦秀夫 (東葛山の会)

期日:2019年3月8日(金)~15日(金)<7泊8日>

参加者: 東葛山の会12名、 ちば山の会3名、 山の会らんたん2名、

君津ケルン山の会1名、 かがりび山の会1名、

5会19名(男性8名、女性11名)



『世界七大陸最高峰』の一つであるオーストラリア大陸最高峰『コジオスコ山 2228 m』に、冷たい風が吹き付ける中、現地手配会社のガイド兼ドライバーの2人と共に、 参加者19名全員が笑顔(?)で山頂に立つことができました。

今回の日程は、次のとおりです。

<1>3/8(金)移動

成田空港 16:30→香港空港 21:05 (乗継) 23:55→シドニー空港+12:00

<2>3/9(土)シドニー市内観光

ガイドと合流後、専用車で『ミセスマックォーリーズ・ポイント』でハーバーブリ ッジとオペラハウスを背景に記念写真を撮り、オーストラリアの観光と山行がスター トしました。次いで、雨降る中、持ち物チェックを受け『オペラハウス』を見学後、 ハーバーブリッジを渡り (勿論、車で!)『ミルソンズポイント』より再度、オペラ ハウスとハーバーブリッジを眺めました。『セントメリーズ大聖堂』を見学後、ホテ ルにチェックインし、夕食はOGビーフを各自で焼いて食べました。

その後、ドライバーの、ご厚意により、ミセスマックォーリーズ・ポイントを再び 訪れ、夜景を堪能しました。諦めていた夜景を見ることができ感激しました。

<3>3/10(日)ブルーマウンテンズの崖っぷち(断崖絶壁)トレッキング

シドニーから郊外のブルーマウンテンズへ。

初めに、『キングステーブルランド(リンカーンズ・ロック)』でスリルを味わい、『エコーポイント』で奇岩『スリーシスターズ』を眺め、広大な『ジャミソン・バレー』を見渡しました。

その後、『グロウズ・バレー』を右手に見ながら『エバンス展望台』から歩き始め、『ゴヴェッツリープ展望台』でドライバーが運んできてくれた昼食を摂り、『プルピットロック展望台』まで、



断崖絶壁沿いのトレッキングコースを、夏の日差しを浴びながらユーカリの林の中を 歩きました。その後、今宵の宿の『ジェノランケーブ』へ。

<4>3/11(月)世界最古の『ジェノランケーブ(鍾乳洞)』見学

早朝、ロッジ近くの『ブルーレイク』で野生のカモノハシを捜した後、朝食を摂り、野生のカンガルー・ウォッチングを楽しみ、『シックス・フット・トレイル』をロッジまで歩きました。途中、地球最古の生物『ストロマトライト』を求めて洞窟に行ったのですが、落石の恐れがあり入ることはできず、遠くから眺めるにとどまりました。

昼食後、最も美しいと言われる『オリエントケーブ』と『テンプル・オブ・バール』 の2つの鍾乳洞を見学しました。でかい!凄い!綺麗!幻想的!魅惑的!……

<5>3/12(火)移動(ジェノランケーブ→キャンペラ/昼食→ジンダバイン)

どこまでも続く牧場の中を延々と走り、小さな町『Taralga/タラルガ』でトイレ休憩。ついでに雑貨屋に全員で入店。ガイド曰く『初めて日本人を迎えたのでは…』

車の燃料フィルターに警告灯が点き、『Cooma/クーマ』という町の TOYOTA で交換をしている間に、アウトドア店で『コジオスコ山登山地図』を入手しました(\$6.95)。

<6>3/13(水)コジオスコ山登山

登山口スレドボ村(約 1400m)より 4 人乗りチェアリフトで一気に 1936mへ。鉄製格子状の道を冷たい向風を受けながら歩き、小高い丘『コジオスコ展望台』で、大きな丸い山の右肩に山頂を初めて望むことができました。

オーストラリア最高所 2046mの『クータパタンバ湖』を見下ろし、オーストラリア 最高所 2125mのトイレ(ローソン峠)に寄り、砂利道を回り込むように登り、オース トラリア大陸最高峰コジオスコ山山頂 2228mに全員で立ちました。

360 度の大展望を満喫した後、記念写真を撮り、登ってきた道を下り、オーストラリア最高所 1936mのレストラン『イーグルネスト』で、展望を楽しみながら遅めの昼食を摂りホテルに戻りました。

標高差約300mの僅か4時間30分の往復トレッキングでしたが、私を含めて皆さん

体調がすぐれなかったようで、疲れ切った感じでした。でも、登頂したぞー!

<7>3/14(木)移動(ジンダバイン→キャンベラ/観光/昼食→シドニー)

キャンベラで、『国会議事堂』と『オーストラリア戦争記念館』を見学し、和食レストラン『庵 IORI』で昼食を摂り、『マウントエインズリー展望台 842m』よりキャンベラ市街を眺めました。

シドニー空港に向かう途中で『THE BIG MERINO』のガソリンスタンドに寄り、トイレ休憩した頃より雲行きがおかしくなってきました。遂に、真っ暗になり稲妻が光りどしゃ降りの雨になりました。路肩に停まっている車もありました。

それでもほぼ予定通りに空港に着き、ガイド兼ドライバーの2人に感謝の挨拶をしてチェックインの列に並びました。

<8>3/15(金)帰国

3/14 シドニー空港 22:20→香港空港 5:00 (乗継) 8:10→成田空港 13:10 参加者 19 名全員が無事成田空港に戻り、入国手続き後、荷物を受け取り、想い出を胸に各自がそれぞれ家路に就きました。

◆トラブルあれこれ

最初のシドニーのホテルでは、いくつかのトラブルが続出しました。

- ① 部屋に入ったら、先客の荷物が既に置いてあり直ぐ部屋を交換してもらいました。 ダブルブッキングってあるんですね。 先客と鉢合わせをしなくて良かったね。
- ② 2 ベッド予約にも拘らず、1 ベッドの部屋がありました。該当者が了承したので、そのまま使用しましたが、寝返りの度に揺れて良く眠れなかったとか…。
- ③ 『バスタブの栓が無い…』と言われたのですが、夜も遅く自分の部屋の栓を渡して対応してもらいました。エレベーターを使用できなく階段を使ったとのこと。カードキーを挿入してエレベーターを使用するシステムでしたが、自分の階より上には行けないのかも… (未確認ですが…)。
- ④ 朝食の時間に現れないので部屋に電話をしたら、『+2 時間』の時差を忘れていたようでした。ホテル出発の集合時間に間に合って良かったね。

◆山行を終えて

風邪 (?)をひいた人が多かったようですが、大きな怪我・事故もなく終了することができてホッとしています。また、天候も味方してくれ、コジオスコ山登山を初め、ブルーマウンテンズの『Cliff Top Track』やジェノランケーブ近郊の『Six Foot Trail』のトレッキングの際には、夏を思わせるような太陽の下を歩くことができました。

現地の旅行会社『IEC Oceania Pty. Ltd.』の話術巧みなガイドの説明により、楽しくオーストラリアの大自然を全身で味わうことができました。

また、今回の山行を手配し、私の希望を現地の会社と粘り強く交渉していただいた『株式会社ワイルド・ナビゲーション』に感謝します。

最後に、不手際もある中、辛抱強く協力をしていただきました参加者の皆さんに感謝します。ありがとうございました。(2019/3/28/Thu.)

インカ古道歩きと太陽の祭り (2018.6.16~6.27)

ハイキング委員 小山 政夫(こまくさHC)

インカ帝国には首都クスコから南はアルゼンチン、北はコロンビアに至る長大な道が有ったという。現在クスコ~マチュピチュ間の120Kmが残る。このうち45Kmがインカトレイルと称しハイキング用に整備されており6日間で歩く。途中数々の遺跡が点在し一部は石畳の道も残っている。最終日にはかっての正門である「太陽の門」に至りようやくマチュピチュが見える。以前にクスコから列車で訪ねたことがあるが夏至の日に行われる祭りを見たいと思っていた。旅行社のパンフレットにこの祭りのツアーがあるのを知り早速申し込んだ。6月16日成田を発ちリマに入る。翌日国内便でクスコ入り、1週間後に祭りが行われるサクサイワマン遺跡、市内の大聖堂を見物した。聖堂前のアルマス広場は早くも軍楽隊に合わせて各職業団体別のパレードが始まっていた。小学生、看護師、教師、弁護士、警察関係などなど制服で姿勢を但し行進する姿に大変新鮮さ、愛国心を感じさせられた。午後トレッキング出発地の聖なるウルバンバ谷に移動、ホテルに宿泊。

6月18日(月)高所順応日。石組が残るオリャンタイタンボ遺跡、マラス塩田、モライ遺跡(標高差による作物の適正調査の試験農場か□ 等見物。またインカの村を訪ね昼食を頂く。ジャガイモ、マイズ(トウモロコシ)、肉と玉ねぎなどの煮込み、デザートは黒トウモロコシのジュース。食後は母なる大地の神に感謝する儀式、ケーナと太鼓の曲を聴き、最後は皆で円陣を作りアンデスの踊りを踊った。

6月19日(火)トレッキング①日目(チルカ村~ワイリャバンバ 歩行5時間/12Km テント泊)

文化庁の入園登録後スタート。我々10名に対し現地ガイド1名とポーター12名が付く。 ポーターはテント7張り、食堂テント、机、椅子、仮設トイレ2基の他、食材、食器、 調理具を運ぶ。ネパール、アフリカでは沿道の茶店、避難小屋を使うがここは全てを運 ぶ。ウルバンバ川沿いを歩き最初のヤクタパタ遺跡2600mを通過後川から離れ山道に入 りコース中唯一の村ワイリャバンバ2950mへ。振り向けば氷雪に覆われた秀峰ベロニカ が見える。

- 6月20日(水)②日目(ワイリャバンバーパカマヨ 歩行7時間/9Km T泊) 急坂を登りトレイル最高地点ワルミワニュスカ峠4198mを目指す。ランの一種プルメリアなどが咲く雲霧林から次第にアンデス独特の草原帯に変わる。峠を越えてインカの石組みの段々畑が連なるパカマヨ3650mへ。
- 6月21日(木)③日目(パカマヨ〜プユパタマルカ 歩行6時間/7Km T泊) 飛脚の中継点として使われたルンクラカイ遺跡 3998m を越えるとかつての城塞サヤク マルカ遺跡に着く。見事な石畳の道を進み、途中ビルカバンバ山群中最高峰サルカンタ イ6264mを眺めながらプユパタマルカ 3700mへ。
- 6月22日(金)④日目(プユパタマルカ~マチュピチュ 歩行5時間/12Km) 更にインテイパタ遺跡、ウイニャイワイニャ遺跡を経てマチュピチュ時代の正門インテ

イプンク (太陽の門) へ。ここに至ると遺跡全貌が望まれる。この日はバスで麓の村へ下りホテルに泊まった。

6月23日(土)⑤日目(マチュピチュ観光)

4:50 起床でバスに並ぶ。既に長い列で 6:30 やっとバスに乗る。7:30 遺跡に着きワイナピチュ岩峰登山午前の部に登録。登山道は狭く1人がやっと登れる急な石段で一方通行。標高2667mだが周囲の山と遺跡の全貌が眺められる。午後は遺跡内を丹念に見て回った。遺跡内はロープが張ってあり厳重な警備。夕刻鉄道、バスを乗り継いでクスコに帰着。聖堂前の店でアンデスの曲を聴きながらトウモロコシ酒チーチャを啜った。

6月24日(日) 太陽の祭り本番

8:00 のんびりホテルを出発。アルマス広場前に午前の部の行進を見に行く。前週は職業別グループの行進だったが今日はインカの4部族毎の民族衣装でのパレード。人数の多さもすごいが原色の民族衣装が素晴らしい。インカの人は山高帽と背中に風呂敷包み、スカートの重ね着。男は耳覆い付きの帽子に貫頭衣という先入観が完全に覆った。いったんホテルに帰り休憩後バスで山の上のサクサイワマン遺跡へ「太陽の祭り」本番を見に出かける。13:30 いよいよ祭りが始まる。4 大部族が次々に入場、祭壇に向かい行進し群舞が奉納される。祭壇前のステージでインカの部族間の戦いを制し遂に一人の英雄がインカの王に上り詰めるまでの歴史が語られる。次いで各儀式が行われる。最初は「チーチャの儀式」。太陽の神に母なる大地から収穫されたトウモロコシで造った酒チーチャを五右衛門風呂ほどの大きな徳利に入れたのを捧げる儀式。次に「聖なる火」の儀式。次いで生贄を捧げる儀式。若いリャーマの心臓と新鮮な血が捧げられる。最後にインカの王が太陽神に「願わくは父なる太陽の神よ、どうか永遠にとどまりあなた様のクスコの民と、あなた様の4地方の帝国の民を導き、お守り下さいますように」と祈願して終わりとなる。

この祭りはリオのカーニバルに次いで南米大陸 2 番目の大きな祭である。前者は純粋に楽しみを追及する祭なのに対して後者は民族の興亡史をドラマ化した一大叙事詩の上演だ。

アンデスの民謡「エル・コンドルパッサ」(コンドルが飛んで行く)はインカの王が亡くなった後、コンドルになって翔んでいったのだと唄う。やや憂いを含んだメロデイはいつまでも胸に響く。



インカの村で美人に囲まれて



太陽のまつり

巣箱にシジュウカラが来た

田中康男(ふわくHC)

「ふわく」元会員の寺田さんが、巣箱を作って子供たちと共に地域に巣箱をかけているそうで、私も教えてもらい、シジュウカラ用の出入りロサイズ 28mm 中を作った。 凝り性な私、入り口から雨水が入った時乾きが早いように床にやや大きめに隙間をあけ、かつ床を少し斜めにした、腐らないように油性のニスまで塗った。

臭いのないことを確認して、カミサン宅庭のすだ椎の大木に掛けたが、小鳥が入った形跡がなく、出入り口を30mmの広げて雀にも開放したつもりだったが、数年間、巣箱を利用する気配もなく、掛ける場所を間違えたか、電話で確認もしたら「葉の茂みの中でなく 垣根の金網のフェンスでもよい」と。

飾り?巣箱に、昨年春小鳥がきていると聞き観察、一瞬シジュウカラを見た。図鑑でカミサンにシジュウカラを説明した。

カミサン宅では、雉鳩やヒヨドリが庭木に巣を掛けたことが有ったが。一般に、餌やりの時は雛が大騒ぎして餌を取り合うはずだから、庭がにぎやかになると期待したのだが、忍者のように出入りして・・・。卵が孵ったであろう事は、木の根本に卵の殻が落ちていたのを(カミサン後日談)発見した時くらいで。それからも忍者、二人とも確信が持てなくなって来ていた。

例年ある時期になると、スダ椎の幹から出た小枝が気になるのが慣わし。シジュウカラが巣立ちを促している鳴き声に、カミサンが反応して(と 後から思った)、「あの小枝を切り取ってほしい」と、高枝はさみを持ち出してきた。何となく鳴き声が聞こえていたから「なにも今切らなくても」と。

最終的に私が手早く切り取ることにして、2本ほど枝を切ったら、親鳥が心配そうに見下ろしていた。子育て中だったことをやっと認識できたので、急いでその場を離れた。「二羽に見下ろされた」、見ていたカミサンうれしそうに「雀の子供一羽いた」「シジュウカラが二羽だ」かみ合わない会話をしながら庭から離れた。

その後、忍者スタイルをやめて猛然と鳴き、巣立ちを促して、次の日にはいなくなっていた。

後日 寺田さんに電話、巣箱の中の巣はなぜ取り除かなければならないか聞いたら、「気が向くと秋前にもう一度子育てがあり 10 月頃取り除くのがよい」「1 月頃巣箱を下見に来る」「出入り口はくちばしで広げたりする」「取り除いた巣を保管・自慢している人もいる」。 話をしているうちに「なぜ取り除く?」は聞きそびれた、どなたか教えて!

今年1月頃下見に来たのかな一。(剪定は12月にした。)

マンション向かい、電柱の雀の巣、1月に雀が騒いだ日があった。取り除いてない ぞ一。

<完>

兵庫労山主催 第53回六甲全山縦走大会 参加報告

小金井由紀子(かがりび山の会)

参加動機

2019年3月10日開催の六甲全山縦走のパンフレットを見て、関門やゴールまでの時間制限(21時30分まで)があること、そしてなにより走ってはダメというルールに魅力を感じた。フルマラソンよりも長い46キロを制限時間内にゴールするって、いったいどんなに楽しいのか辛いのか??チャレンジしてみたい!!!とすぐに申込んだ。ひとりでは心細いので、娘と一緒に。

当日

スタートは須磨浦公園駅から、5 時 30 分から 7 時までのウェーブスタート(時間差スタート)。受付を済ませて 5 時 50 分にスタート。

天気は曇りであるが、いつ雨が降ってもおかしくない天気。前後に参加者がいるので地図を見ることなく、ベテランそうな参加者を見つけては見失わないように歩く。前半がキツいと聞いていた通り、摩耶山まではアップダウンが続く。須磨アルプスの馬の背では滑らないように慎重に慎重に、下を覗くとそのまま落ちてしまいそうでとても怖かった。歩き始めて4時間、菊水山で雨が降り始めてカッパを着ることになり、その後ゴールまでの9時間半脱ぐことは一度もなかった。

娘とは久しぶりの再会なので、楽しいおしゃべりでテンションも上がり、前を歩く参加者を次々追い抜いたのだが、結果それが後半のバテる原因を作って しまったらしい。

スタートしてから 21 キロ、チェックポイントの大竜寺に着くころには本格的な雨となり、まだ半分も来ていないことに心が折れるも、オレンジジュースのサービスを受け、軽くストレッチをして気を取り直して出発。しかし、雨が強くなり、風も出てきて、おまけにガスってきた。何にも見えないじゃないか、見えるのは前を歩く参加者だけ。そのころから娘が遅れだし、口数も少なくなる。止まるとあっという間に体が冷えるので、疲れていても歩いていたほうがましである。

摩耶山まで頑張れば後は楽チンだって、もうちょっとだよ、明るく声掛けする母に娘は応答なし。やばい、リタイヤしたいなんて言われたらどうしようと心配になる。そんな時、10歳くらいの男の子に抜かされる。お父さんと参加しているらしく、その子は足を引きずりながらもお父さんと歩いている。その姿を見てからだろうか、ペースは上がらなかったが、しっかり前を向いて会話もするようになった、もう大丈夫。

摩耶山手前でいただいた暖かい紅茶が忘れられない。

六甲山での最後のチェックポイントを通過しヘッデンを装着。スタッフの方 に後3時間だよ!頑張って!と言われるも後3時間もこの雨の中歩くのかと途 方に暮れるが、前に進むしかない。靴も、襟元から入ってきた雨で服もびしょびしょ。暗くなり足元も良く見えないうえに、雨で道はドロドロ、気を抜くと滑って転んでしまいそうである。このころになると、会話をする人は誰もいない、みなゾンビのように下を向いてゾロゾロと歩く。ゴールすることだけを考え一歩一歩前に足を出す。

ゴールは宝塚駅から2キロ手前にある塩尾寺。お香の匂いをかすかに感じゴールが近いことがわかると娘が声を出して泣き出した、疲労とゴールできる安堵からであろう。19時30分ゴール、スタートから13時間半、長い一日が終わった。 泣いていた娘はいつの間にか笑顔になっていた。

あとがき

全山縦走コースの参加申込者数は870名、完走率は、出走者ベースで79%とのこと。

無事完走して達成感に浸るとともに、自分の体力も確認できてよかった。今回は雨の中の歩行であったが、晴れた日にまた挑戦してみようと思う。



受付会場



朝焼(ナ



馬の背



ゴール

第24回 春の植樹祭のお知らせ

足尾の山に100万本の木を植えよう





- 実施日 2019年4月27日(土)・28日(日)
- 実施場所 足尾市・銅親水公園
- ・アクセス ・わたらせ渓谷鉄道 終点「間籐」駅 下車 会場(銅親水公園)シャトルバスで送迎あり
 - ・東北道・宇都宮インター⇒日光有料道路・日光⇒ 122号線⇒足尾方面⇒銅親水公園駐車場
- •参加費 無料
- ・無料の宿泊施設紹介します。



- ◆ 足尾銅山の鉱毒ではげ山になった「足尾の山に緑を取り戻す」運動に 参加して一本でも多く植林して下さい。
 - ・栃木県連は、参加者のサポートを救助隊を中心に参加しています。
 - ・埼玉県連は、毎年貸し切りバスで多数参加しています。
 - ・千葉県連は、ちば山の会・ふわくHCが毎年参加しています。
- ◆ 会場の足尾近郊は「近くて良い山・栃木の山」があります。 備前楯山・袈裟丸山・庚申山・鳴虫山(栃木県百名山)を、山行と 組み合わせて計画する事も楽しいと思います。

参加に関する事・山行・宿泊情報・アクセツに 関する問い合わせ先 千葉県連 広木 国昭 (danphiro@zpost/plala.or.jp)

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟(千葉労山)

◎ 県連盟事務所

 $\mp 262 - 0033$

千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101 号室

TEL • FAX: 043-306-1190

 $E \nearrow - \mathcal{V} : \underline{rousanchiba@grape.plala.or.jp}$

JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分 (県連事務所に常駐者はいません)

ご意見・問合わせは、下記にお願いします。

・千葉県連ホームページ:

事務局への問い合わせ

・又は : dan phiro@zpost.plala.or.jp

◎ 会員の事故一報送付先

Eメール: 教遭委員長・伊東 春正

: itou2385@yahoo.co.jp

FAX : 教遭副委員長・広川 登志男

: 0438-36-7219

全国連盟事務局にも必ず送付する事

Eメール: jwaf@jwaf.jp

FAX : 03-3235-4324

◎ 連盟費振込み先

郵便振替口座

00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

◎支援海産物販売のお知らせ

「春どり」ワカメが

入荷しました

出来る時に

出来る人が

出来る事を

問い合わせは 広木まで

<u>danphiro@zpost.plala.or.jp</u> 0 9 0 - 8 3 1 6 - 2 0 2 0

- ◎「ちばニュース」
- 原稿送付先

戸石 <u>m-toishi@min-iren-c.or.jp</u>

種蔵 <u>tan</u>ekura@gmail.com)

広木 danphiro@zpost.plala.or.jp

・ワード A4・2ページ位、明朝12m、余白は全て25mPDFなど、特別な加工はしない出来れば、写真を2・3枚付けて

【編集後記】

・ ちばニュース・4月号より、編集業務を機関紙委員会が実施しました。 委員会は3名ですが、2018年9月に実施した「ちばニュース交流集会」で 出された意見・要望を検討して一人でも多くの会員に届け読んでいただける ちばニュースにして行きたいと思っています。

ちばニュースに関する、意見・要望等をお寄せください。 (千葉県蓮ホームページ・事務局への問い合わせまで)

- ・ 各会の会報、記念誌等の提供をお願いします。県連会員に会の活動や現状を 紹介する事で、会の交流が出来ればと思います。
- ・全国連盟で今年度最初の死亡事故が発生しました。 千葉県蓮盟からは絶対に重大事故だけは起こさないで下さい。そのためには まず、つまづく・滑る転がる等の軽い事故防止から取り組んでください。 ケガや病院通いまで行かなくても「ああ一良かった」で済ませないで下さい。 山行毎に「ヒヤリハット」を実行する。何もない、感じなかった等は無いは ずです。無かったとしたら、事故やケガに無神経になっているだけです

県 連 活 動 予 定 表

5 行事予定		4	行事予定
1 水	1	月	県連役員会
2 木	2	火	
3 金	3	水	
4 ±	4	木	
5 日	5	金	
6 月	6	±	
7 火 県連理事会	7	日	
8 水	8	月	
9 木	9	火	
10 金	10	水	
11 ±	11	木	ウィークデー山行
12 日	12	金	
13 月	13	±	
14 火 全国役員会	14	日	
15 水	15	月	
16 木 県連理事会	16	火	全国役員会
17 金	17	水	
18 土	18	木	県連 理事会
19 日	19	金	
20 月	20	±	
21 火	21	日	
22 水	22	月	教遭委員会
23 木 全国役員会	23	火	
24 金		水	
25 土	25		全国理事会
26 日	26		
27 月 教遭委員会	27	土	足尾植樹デー
28 火	28		<i>II</i>
29 水	29		
30 木	30	火	
31 金			

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

TEL-FAX 043-306-1190 (常駐者はいません)

発行責任者 : 広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)

問い合わせは:千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで